

第2回 APWF 執行審議会 (GC) 会合 開催概要報告

日時：2007年7月12日(木)9時~18時、13日(金)9時~12時

場所：シンガポール Water Hub (PUB 関連施設)

参加者：別添参加者リスト参照

【決定事項】

1. 提言書の修正版の締め切りは7月20日(金)とする。
提言書については、テーマA、Bによる第一次ドラフトに対する議論を行い、各リード組織がコメントを反映。テーマCは提言書の第一次ドラフトを提出していないため、20日までに素案を提出することを約束。
20日までに提出された内容に基づき、8月6日の運営委員会におけるコー議長の報告を準備。
2. イニシアティブ&セッションの提案の締め切りは7月27日(金)とする。
優先テーマ別だけでなく、希望するKRAについてもセッション開催は可能とする。
また、各セッションは1時間半とする。(添付は議論の結果を踏まえたプログラム)
3. APWF メンバーについては、リード組織はアプリケーションフォームの提出なしでメンバーとして認めることとする。(国連機関などの庶務手続きの複雑さに配慮)
各申込者に対してOKメール送付&Webでのリンク要

【検討課題】

1. メディア向けのスポークスマンを誰にするかを検討要
情報発信チームの体制も併せて検討要。
2. WaMCAP
協議会のあり方について再検討要(サブ地域毎等)。検討の材料として、地域内の水大臣ネットワーク(メコン、ASEAN等)について調査要。

【その他】

1. "Message from Beppu"
事前のドラフトや交渉は行わないこととし、サミット期間中の議論を踏まえて、1ページ程度のをラポルツールが準備する。
サミットの議長は森会長。副議長は東南、南、中央、オセアニア・パシフィックの参加者から1名ずつ選出(計4名)。ラポルツールはGC副議長のNarayanan氏、Witoelar氏に務めてもらう方向で調整。
2. IYS2008(国際衛生年)のLaunching
コアグループとしてUNESCAP(他のUN機関の調整役)、JBIC、JWF(APWF&APWS事務局)が中心となり、案を作成し、SOK、UNHABITAT、WTO等関係機関と議論しながら、内容を詰めていく。